



クイックガイド

平成 20 年 10 月 3 日

ジュピターテクノロジー株式会社

目次

I 概要	4
II インストール	5
III 構成	11
1 Secirity Tools (セキュリティツールズ)	11
1-1 avast! antivirus.....	11
1-2 Registry Cleaner(レジストリークリーナー).....	11
2 Disk Tools (ディスクツールズ)	11
2-1 Junk File Remover (ジャンクファイルリムーバー).....	11
2-2 Disk Checker (ディスクチェッカー)	11
2-3 Data Shredder (データシュレッダー).....	11
3 System Tools.....	12
3-1 Registry Editor (レジストリーエディター)	12
3-2 Event Viewer (イベントビューワ)	12
3-3 Service Drivers (サービスドライバー).....	12
4 Network Tools.....	12
4-1 Start Networking (ネットワークスタート)	12
4-2 TCP/IP Setup (TCP/IP 設定)	12
4-3 Map Net Drive (ネットドライブマッピング).....	12
4-4 Ping.....	12
5 Misc Tools	13
5-1 Servant Salamander (サーバントサラマンダー)	13
5-2 Command-line Tool (コマンドラインツール)	13
5-3 Text Editor (テキストエディター)	13
IV 基本.....	14
1 avast! BART CD の基本	14
2 ネットワーク	14
V avast! Antivirus.....	15
1 avast! Antovirus の使用.....	15
2 スキャンエリアの選択.....	15
3 スキャンレベルの感度設定.....	15
5 レポートファイルパラメータ設定.....	16
6 後処理.....	17
VI Registry Cleaner.....	19
V Junk File Remover.....	20

VI	Disk Checker	21
VII	Data Shredder	22
1	ファイルのシュレッディング	22
2	ディスク未使用スペースのクリーニング	22
3	パーティション全体のシュレッディング	23
VIII	Registry Editor	24
1	使用	24
2	レジストリーファイルのバックアップ	24
IX	Event Viewer	25
IX	Services / Drivers	26
X	Command-line Tool	27
1	使用	27
XI	Servant Salamander	29
XII	Text Editor	30
	おわりに	31

I 概要

avast! BART CD は avast! Bootable Antivirus & Recovery Tools CD の略です。強力な管理ツールであり、中心となる機能は avast! antivirus の特別バージョンです。avast! BART CD はコンピュータのウィルス感染を駆除するためのものです。感染ファイルを削除、移動、名称変更するだけでなく、内蔵駆除機能でクリーンな状態にします。ウィルス感染システムのリカバリーを高速に行います。通常は、感染アプリケーションの再インストールは不要です。

avast! BART CD にとって avast! antivirus は重要な機能ですが、それだけではありません。CD には他の有効なツールが含まれています。たとえばレジストリエディター、ディスクチェッカー、そしてテキストエディターなどです。

ファイルやパス名などに日本語が含まれる場合は一部機能が使用できま無い場合がありますので、あらかじめご了承ください。

II インストール

CD のファイル `bart_full.exe` をローカルディスクにコピーします。インストールにはライセンスが必要ですので、あらかじめライセンスを取得してください。

アイコン `bart_full.exe` をダブルクリックしインストールを開始します。指示に従って進めます。





License Manager 画面でライセンスファイル license.dat(フォルダー Axxxx-yyy に含まれています)パスを入力します。



再度指示に従ってインストールを完了させます。





デスクトップに avast! BART CD Manager アイコンが表示されます。



このアイコンをダブルクリックし BART CD Manager をスタートします。Update ISO を選択した状態で Check for Update をクリックしてください。



次に Next をクリックするとパッケージがダウンロードされますので、ISO イメージ作成フォルダーを指定します。



Next をクリックします。



再度 Next をクリックします。



もう一度 Next をクリックします。

CD イメージ (bart.iso) が作成されると以下の画面になります。



bart.iso を CD にコピーすると avast! BART CD の完成です。

III 構成

1 Security Tools (セキュリティツールズ)

1-1 avast! antivirus

avast! antivirus スキャナーでは FAT16/FAT32/NTFS ディスクがウイルス/ワーム/トロイの木馬に感染していないかをスキャンし、さらにそれらを除去することができます。avast! はファイルアーカイブ内部のスキャンが可能ですので、ディスクの全てを完全にチェックすることができます。感染ファイルの所在が明らかな場合は特定フォルダーのスキャンだけを行うことも可能です。フロッピーディスクなどで供給することができれば代替ウイルス定義ファイルを使用することも可能です。

1-2 Registry Cleaner(レジストリクリーナー)

このプログラムで Windows NT/2000/XP/2003 のレジストリーにおける問題や不具合の発見と解決が可能です。ウイルス/ワームによる攻撃で変更されたレジストリーの復旧や、個々のアンインストーラによるエントリーをクリーンにすることもできます。

2 Disk Tools (ディスクツールズ)

2-1 Junk File Remover (ジャンクファイルリムーバー)

ハードディスクの不要なコンテンツの掃除のツールです。システムやアプリケーション固有の一時ファイルの除去、不要なキャッシュアイテム、破壊されたリンク、一時ヘルプファイル検索データ、その他を含みます。隠れたファイルの発見や処理も可能です。

2-2 Disk Checker (ディスクチェッカー)

ディスクチェックユーティリティです。ハードディスクとリムーバブルディスクのエラーを発見し、それらを修復します。完全なサーフェイススキャンも可能です。Windows Scandisk と同等です。

2-3 Data Shredder (データシュレッダー)

完璧なデータ除去ユーティリティです。多くの場合は、データを完璧に消去しどんな方法によっても修復不可能にする必要があります。たとえば PC やサーバーを廃棄する場合、権限の無いユーザーによって保存されたデータが見られないように完全に消去しなければな

りません。

3 System Tools

3-1 Registry Editor (レジストリーエディター)

ディスク上のレジストリー編集ツールです。ディスク上の **Windows NT/2000/XP/2003** レジストリーキーに対し全てのアクセスが可能です。**Windows Regedit** と同等です。

3-2 Event Viewer (イベントビューワ)

ディスク上の **Windows NT/2000/XP/2003** イベントログを閲覧するツールです。コンピュータの起動ができず、何があったのかを知るためにログをアクセスしなければならない場合に有効です。強力なフィルタと検索をサポートします。ユーザーインターフェイスは標準 **Windows** と同等です。

3-3 Service Drivers (サービスドライバー)

このプログラムではユーザーモードシステムサービス同様に **WindowsNT/2000/XP/2003** カーネルモードドライバーリストの閲覧ができます。

4 Network Tools

4-1 Start Networking (ネットワークスタート)

avast! BART CD ネットワークサブシステムを起動します。**Network Tools** 中のユーティリティ、他のアプリケーションによるネットワークボリュームアクセス、の実行前にこのツールを実行します。

4-2 TCP/IP Setup (TCP/IP 設定)

DHCP や **DNS** 設定のような **TCP/IP** ネットワークプロパティを設定する簡単なユーティリティです。このツールの実行前に **Start Networking** の実行が必要です。

4-3 Map Net Drive (ネットドライブマッピング)

リモートボリューム (**SMB**) のマウントができます。このツールの実行前に **Start Networking** の実行が必要です。

4-4 Ping

リモートホストとの接続を確認する基本ツールです。このツールの実行前に **Start Networking** の実行が必要です。

5 Misc Tools

5-1 Servant Salamander (サーバントサラマンダー)

強力で使いやすいファイルマネージャです。GUI やディスク上のファイルのドラッグ&ドロップのようなユーザーフレンドリー**Windows** 機能があります。ファイルやディレクトリーの生成、オープン、移動、名前変更、削除ができます。コンピュータやその他の情報問い合わせや検索、ファイルやディレクトリーのパック、アンパックその他も可能です。

5-2 Command-line Tool (コマンドラインツール)

管理者にとってなじみの深いコマンドツールです。ディスク上のファイルやディレクトリーの生成、オープン、移動、名前変更、削除、バッチファイル実行、外部プログラム実行その他ができます。**Windows** の `cmd.exe` と同等です。

5-3 Text Editor (テキストエディター)

汎用のテキストビューワ/エディタです。テキストファイルのオープンや保存ができます。。完全に **UNICODE** 互換です。**Windows** の `Notepad` と同等です。

IV 基本

1 avast! BART CD の基本

avast! BART CD は WindowsXP 特別バージョンのブータブル CD として作成されます。

コンピュータに CD-ROM あるいは CD を読む他のデバイス(DVD-ROM や CD-RW など)が必要。

CD からブート可能であること。BIOS を確認するとわかります。

BART CD を CD ドライブに入れコンピュータのブートまたは再起動を行います。

Press any key to boot from CD メッセージが表示されたらキーを押すこと(たとえば Enter)

しばらくすると適切なツールを選択する avast! BART CD シェルが表示されます。

ツールを選択して Run で実行します。

各ツールの説明はヘルプファイルをご覧ください。

avast! BART CD のスタート後、キーボード選択ウィンドウが表示されます。日本語キーボードの場合はデフォルトの United States International のまま OK を押してください。

2 ネットワーク

avast! BART CD はネットワークをサポートします。この機能は Start Networking ボタンで有効になります。ネットワークをスタートするには少々時間がかかります(約1分)。スタート後は NETBIOS と TCP/IP が使えます。

快適に使うために、Map Net Drive ボタンでネットワークデバイスのマッピングを行います。ドライブパス(標準 UNC フォーマット)を入力しドライブにマップする文字を選択します。ドライブのマッピングに成功すると他のローカルドライブと同様に操作できます。

V avast! Antivirus

1 avast! Antivirus の使用

ツールをスタートするとコンピュータ全体を感染したウィルスからクリーンにするための操作を行うウィザードが表示されます。複数の基本的な手順から構成されます。

ウィンドウ左側の avast! antivirus をダブルクリック、または選択して Run Now を押してスタートします。

1. スキャンエリアの選択
2. スキャン感度の設定
3. スキャンで使用する VPS ファイル (ウィルスデータベース) を選択
4. スキャンログのレポートファイルパラメータを設定
5. スキャン結果の後処理 (感染ファイルに対する操作)
6. 本来の OS をリスタート (再度 avast! BART CD からブートしコンピュータがウィルスに感染していないことを確認することをお勧めします)

2 スキャンエリアの選択

ウィルス検出エリアを選択します。

Local Drives (ローカルディスクをスキャンします)

Floppy Disk (リムーバブルメディアをスキャンします)

Selected Folders (Explorer 様のウィンドウからスキャンするフォルダーを選択します。テキストボックスにパスを入力することも可能です)

3 スキャンレベルの感度設定

スキャンレベルを選択します。

Fast (Content-based scan を自動選択 : EXE, COM, SCR のようなウィルス感染の可能性のあるファイルのみをスキャンします。avast! はこれらの判断を拡張子ではなく、その内容で判断します。したがって JPG 拡張子であっても EXE タイプファイルであ

ればそれをスキャンします)

Standard (Content-based scan と Scan all files を自動選択：ファイルタイプと関係なくアーカイブ以外の全ファイルのスキャンします)

Thorough (Scan entire files, Content-based scan, Scan all files, Archives および Ignore virus targeting を自動選択：アーカイブを含むすべてのファイルの完全スキャンします)

Custom (スキャンレベルを選択します)

Test entire file: ファイル全体をスキャン。指定しない場合は感染可能性の高いファイルの先頭と終わりのみをスキャン

Scan all files: ファイルタイプに関係なくアーカイブ以外をすべてスキャン

Ignore virus targeting: ウィルスデータベースのすべてをスキャンする。指定しないとファイルタイプごとに感染可能性のあるウィルスのみをスキャンする

Content-based scan: ファイル拡張子を無視し、内容を判断してスキャンする

Archives: アーカイブスキャンを実行。アーカイブタイプとアーカイブ展開用一時ファイルのパスは次のページで指定します。

4 VPS ファイル選択

スキャンでは最新のウィルスデータベースを利用してください。ウィルスデータベースは VPS ファイルにあります。avast! BART CD に入っている VPS ファイルが最新でない場合は、たとえばフロッピーディスクにある最新の VPS ファイルを選択することができます。その場合は VPS ファイルパスを指定します。

可能な限り最新 VPS データベースを含む avast! BART CD を作成してください。

5 レポートファイルパラメータ設定

スキャン結果を分析するためにレポートファイル作成が可能です。

レポートパラメータ

Soft errors(テストできないファイルです。共有違反やアクセス権がないなどの理由です)

Hard errors (ハード的な理由でテストできないファイルです)

Skipped files(テストできないファイルです：たとえば小さすぎてウィルス感染の可能性がない)

Infected files (ウィルスコードを含むファイル)

OK files (ウィルスに感染していないファイル)

Commands on infected files (感染ファイルに対して行われた操作 : たとえば削除、駆除など)

Location of report file: レポートファイル名とそのパス

Create the file in UNICODE format: レポートを UNICODE で作成

6 後処理

スキャン終了後その結果が表示されます。ここでは感染ファイルに対する操作を選択する重要な手続きです。

Edit results を選択します。結果を表示するウィンドウが現われます。感染ファイルを右クリックし操作を選択します (複数ファイルの選択も可能です)

Delete (感染ファイルを削除します)

Move (感染ファイルを移動します。ファイルを移動するフォルダーを選択します)

Rename (感染したファイルの名称を変更します。avast!はデフォルトでは感染ファイルの拡張子を.VPS に変更します。名称変更したファイルを移動するフォルダーを選択します)

Repair (感染ファイルを修復します : ウィルスコードのみを削除。オリジナルシステムのリスタート後、特別なツールを実行するようリスケジュールすることも可能です。avast!は下記のウィルスと変種感染ファイルをクリーンにできます)

すべてのマクロウィルス

Win32.Badtrans

Win32.Beagle

Win32.Blaster

Win32.BugBear

Win32.Ganda

Win32.Klez

Win32.MiMail

Win32.Mydoom

Win32.Nachi

Win32.NetSky

Win32.Nimda

Win32.Opas

Win32.Parite

Win32.Sasser

Win32.Scold

Win32.Sircam

Win32.Sober

Win32..Sobig

Win32.Swen

Win32.Yaha

Win32.Zafi

Virus description (ウィルス説明 : 感染するファイルタイプ、メモリー常駐型など)

VI Registry Cleaner

下記の手順に従ってレジストリクリーニングを行います。

- 1 クリーンにするシステムを選択
- 2 Welcome ページで Next を押す
- 3 Clean the system registry を選択し、再度 Next ボタンを押す
- 4 Registry Cleaner で実行するタスクを選択し、次のページに進む。テストが自動的にスタートする
- 5 テストの間、Stop ボタンでいつでもストップでき、Cancel ボタンで完全に終了できません
- 6 テストが終了すると結果表示ウィンドウになります。Ctrl と Shift ボタンで複数選択できます。削除は Process Selected ボタンで行います。全選択と解除は Select All / Select None ボタンで行います。何も選択せず Process Default ボタンを押すと確認後全てのレコードを選択し削除します。Cancel ボタンを押すと変更せずに終了できます。
- 7 Finish ボタン Back ボタンで他のテストを実行すると Registry Cleaner を終了します (ステップ 3 になります)。

次の手順で最終クリーニングステップに戻ります

- 1 Registry Cleaner でクリーンにされたシステムを選択します
- 2 Welcome ページで Next ボタンを押します
- 3 Undo previous clean steps を選択し、Next ボタンを押します
- 4 Undo last step ボタンで最終クリーンステップを取り消します (全ての以前のステップは適切なリストコマンドで表示できます)。
- 5 Cancel ボタン又は Back ボタンで他のクリーニングを実行して Registry Cleaner を終了します。

V Junk File Remover

以下の手順に従えば不要ファイルの発見と削除が可能です。

- 1 クリーンにすべきシステムを選択。レジストリーローディングをスキップできますが、この場合はリンクファイル (*.lnk) の整合性の確認ができなくなります。
- 2 Welcome ページで Next ボタンをクリック
- 3 検査ロケーションを選択。Junk files by mask を選択すると以下のページの追加設定が必要です

a File by mask: Exceptions

完全なファイルパスの一部を挿入すると、マスクで一致させるファイルでも有効に処理されます。ファイルパスのどこかに見つかるとそのファイルをスキップします(定義済み例外は削除できませんが、無効にできます)。

b File by mask: Tassks

不要なファイルを検索するために使用されるマスクのリストです。マスクの追加、削除、変更、マスクの有効、無効を指定できます。

c File by mask: Settings

このページで追加の制約を指定できます。特定期間使用されないファイルのみを検索できます。読み出し専用、システム又は隠れファイルをスキップすることも出来ます。

Next ボタンをクリックすると検索を開始します。

- 4 テストが終了すると結果が表示されます。削除する 1 つあるいは複数ファイルを(Ctrl と Shift を使用)選択できます。Process Selected ボタンで削除を実行します。Select All / Select None ボタンで全選択もしくは全選択解除ができます。選択レコードなしで Process Default ボタンを押すと、確認後全ファイルが選択され削除されます。何も変更せず終了するには Cancel ボタンを使用します。

VI Disk Checker

ハードディスクとリムーバブルメディアのエラーを検出し修正します。

- 1 実行するドライブを選択します。
- 2 スキャンタイプを選択します。

Standard 標準

Through サーフフェイススキャンを実行し **Standard** スキャンに加え巢フィースペースを確認します

Automatically fix errors エラー箇所を自動修復します

- 3 スキャン結果は右のテキストウィンドウに表示されます。

VII Data Shredder

ファイルを削除しソフトウェア的にもハードウェア的にも回復不能状態にします。標準ツールでのファイル削除はシステムアロケーションテーブルから参照データを削除し、アロケーションテーブルを未使用にするだけで、実際の消去は行いませんので、他のファイルをその場所に上書きされるまでデータが残ります。これらの削除ファイルを読み出すユーティリティが存在しますので、通常の方法だけではデータを消去したことにはなりません。

1 ファイルのシュレッディング

必要なソリューションはそれらを削除する前に無意味なデータを上書きすることです。これはまさにこのツールが実行することです。速度と信頼性の異なるいくつかの方法があります。

Random Overwrite これは最も簡単ですが、一番信頼性の低い方法です。ランダムデータを一度もしくは複数回上書き回数を指定できます。

DOD (Department of Defense) cleaning and sanitizing standard より安全ですが遅くなります。ファイルに 0 を書き、次に 0x55、最後にランダムデータを書きます。

Gutmann method 非常に時間がかかりますがもっとも安全です。上記 2 方法ではソフトウェアツールではデータの修復はできません。しかし特殊なディスク修復ハードウェアツールでは修復できる場合があります。これらはディスクトラックのある書き込みレイヤーのみを修復する機能を持っています。Gutmann method は 25 回の書き込みを行い、それらは全て異なるエンコーディング(MFM< RLL など)を使用します。さらに複数回のランダムパスがあります。この方法によるシュレッディング後のディスクの元のデータを読むことは不可能です。

2 ディスク未使用スペースのクリーニング

標準的な手段による機密データ削除後であっても、Shredder では未使用スペースのクリーニングによりファイル修復不可能にできます。これはできるだけ大きな一時ファイルをアロケートし上記の方法で処理できるからです。

しかし全未使用スペースに大きなファイルのアロケートができるわけではありません。ファイルはクラスタとして保存され、ファイルサイズは複数クラスタのサイズですので、各

ファイルの最終クラスタには未使用スペースがあります。これはクラスタチップと呼ばれており、機密データを含むことがあります。Shredder はこれらの領域にも上書きできます。NTFS では小さなファイル (1KB 以下) はマスターファイルテーブル(MFT)に直接保存されます。これは大きなファイルで上書きできない部分です。そのため未使用レコードには多数の非常に長い名前の容量 0 のファイルを上書きします。

FAT パーティションでは、Shredder は全体のディレクトリ構造の削除されたエントリーを直接上書きし、削除したファイルの復旧ができないようにします。残念ながらこれは NTFS では利用できません。ディレクトリクラスタに直接アクセスする危険があるからです。

3 パーティション全体のシュレッディング

このオプションはパーティションに保存された全データを回復不能に破壊します。3 種類の上書き方法を選択できます。この処理の後にはパーティションのフォーマットが必要で、例えばサーバーハードウェアを交換した場合に、古いデータが他人に使用されることを避けるような目的には有効です。

VIII Registry Editor

1 使用

Windows Regedit.exe と見た目も機能も類似します。複数 OS がインストールされている場合は編集するファイルを選択できます。Registry Editor は自動的にシステムのレジストリーファイルを検索し、重要な部分をロードします。

File | Open Registry file で開始することもできます。

NT ベースシステム (WindowsNT/2000/XP) のレジストリーのみを編集できます。

2 レジストリーファイルのバックアップ

レジストリーファイルの操作前に、バックアップする場所を指定できます (チェックボックス “Backup registry files that will be loaded by this application” 使用)。このオプションをチェックすると元のレジストリーファイルと同じディレクトリーにファイルがバックアップされます。

BART で最初に Registry Editor を使用すると、デフォルトでレジストリーバックアップがオンになります。2 回目以降はマニュアルでバックアップを有効にする必要があります (バックアップが必要な場合)。

バックアップファイル拡張子は “bartbackup[N]” 形式になります。N はバックアップファイルインデックスです。例えば、レジストリーファイルシステムをオープンするとバックアップは system.bartbackup1 の名前になります。2 度目にファイルを開くと他のバックアップが生成され system.bartbackup2 となります。

システムレジストリーオープン時、複数ファイルが開かれると (各ユーザーが別ファイルを開く) 全てのファイルがバックアップされます。

バックアップファイルすうには制限があります。多数のバックアップファイルがあると、他のファイルを削除するか追い合わせがあります。

IX Event Viewer

Event Viewer は本来の Windows Event Log Viewer に類似します。

最初に、検査するシステムを選択します。次に、初期化後、メインウィンドウ左で選択したイベントログをブラウズできます。レコードはメインリストコントロールに表示されます。メインリストコントロールはいくつかの欄で構成されており、ヘッダをクリックしてソートできます。欄の追加、削除、並び替えができます(View > Add/Remove > Columns...)。レコードをダブルクリックすると詳細が表示されます。Event Properties ウィンドウでは Next, Previous ボタンでレコードのナビゲートができます。

右には、開かれたイベントログのツリーコントロールがあります。主要な機能を簡単にアクセスするためのポップアップメニューがあります。そこには以下の機能があります

Find レコードを見つける

Filter レコードをフィルタする

Propertied プロパティを見る

Open log file ログファイルを開く

Save log file as ログファイルを保存

IX Services / Drivers

システムの選択後使用してください。メインウィンドウ左にツリーコントロールがあり、右にリストコントロールがあります。ツリーコントロールは 2 つのカテゴリー、ドライバーとサービス、があります。リストコントロールにはツリーコントロールの選択により特定のドライバーやサービスリストがあります。

サービスやドライバーのプロパティを見るにはそれをダブルクリックします。プロパティの変更(特に **startup** タイプ)も可能です。これはドライバー不良や、存在しない場合のシステムブート失敗などの場合に有効です。

X Command-line Tool

1 使用

コマンドラインインタープリタです。Windows の `cmd.exe` や `command.com` と同じ機能です。Help コマンドで使用できるコマンドリスト表示できます。いくつかのコマンドでは `cmd.exe` や `command.com` の全パラメータの使用はできません。

2 コマンドリスト

可能なコマンドのリストです。使用方法は `command /?` で表示されます。

ATTRIB (ファイル属性の変更と表示)

CALL (バッチファイルから他のバッチファイルをコール)

CD (現在のディレクトリー名の表示や変更)

CHDIR (現在のディレクトリー名の表示や変更)

CLS (画面の消去)

CMD (BART コマンドインタープリタの別インスタンススタート)

COPY (1 以上のファイルを別の位置にコピー)

DATE (日付の表示や設定)

DEL (1 以上のファイルを削除)

DIR (ディレクトリーのサブディレクトリーやファイルの表示)

ECHO (メッセージ表示とコマンドエコーのオン/オフ)

ERASE (1 以上のファイルを削除)

EXIT (コマンドインタープリタの終了)

FOR (各ファイルの指定コマンドを実行)

GOTO (バッチプログラムのラベル行にコマンドインタープリタを向ける)

HELP (内部コマンドのヘルプ)

IF (バッチプログラムの条件実行)

MD (ディレクトリー作成)

MKDIR (ディレクトリー作成)

MORE (画面の表示をもっと出力)

MOVE (ディレクトリーの 1 以上のファイルを他の位置に移動)

PATH (実行プログラムのパスの表示や設定)

PAUSE (バッチプログラムの実行中断とメッセージ出力)

POPD (現在のディレクトリーの以前の値をリストア)
PUSHD (現在のディレクトリーを保存し変更)
RD (ディレクトリーの削除)
REM (バッチファイルにコメントを記録)
REN (ファイル名の変更)
RENAME (ファイル名の変更)
RMDIR (ディレクトリーを削除)
SET (Windows 環境変数の表示、設定、削除)
START (指定プログラムを実行する別ウィンドウをスタート)
TIME (システム時刻の表示や設定)
TYPE (テキストファイルの内容表示)
VER (BART コマンドインタープリターバージョン表示)
XCOPY (ファイルやディレクトリーツリーのコピー)

XI Servant Salamander

人気のあるファイルマネージャの特別バージョンです。容易で強力なファイル操作（削除、コピー、移動、名称変更）を行えます。名前や内容で検索することも可能です。

プログラムウィンドウは左右に分かれます。各々ディレクトリーの内容を表示します。ディレクトリー間でファイルの移動やコピーを行います。ドラッグ&ドロップ操作も可能です。

アーカイブ操作もサポートしますのでファイルやディレクトリーの圧縮や解凍が可能です。

XII Text Editor

簡単なテキスト表示/編集ツールです。Windows の Notepad と同様のツールです。
UNICODE フォーマットファイルの操作は **File | Use UNICODE for Load and Store** で
UNICODE サポートを有効にしてください。

おわりに

本クイックガイドは avast! BART CD のための基本的な手順を説明しております。ライセンスに内蔵されている HELP ファイルを翻訳し、弊社で必要な追加を行いました。

avast! BART CD 使用中に不具合を発見した場合、あるいは使用上質問や疑問がありましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

ジュピターテクノロジー株式会社

〒183-0023 東京都府中市宮町 2-15-13

電話 042-358-1251 FAX 042-358-6221

email tech-support1@jtc-i.co.jp url <http://www.jtc-i.co.jp>